



たんぽぽ

第48回高等学校卒業式が
2月1日に本校体育館で挙行政され、
248人の卒業生が
新たな一歩を踏み出しました。



卒業おめでとう



卒業式



寄本 宏明 校長

保護者の皆様、ご家族の皆様におかれましては、日本全国30都道府県、さらに世界各国から、子どもの成長を祈り続けてこられた皆様に心よりお祝いを申し上げます。今回はインドネシア、タイ、中国からこの会場にお祝いに駆けつけてくれております。

改めて日頃より明德教育に温かいご理解とご協力を賜っております関係各位に心からの感謝と御礼を申し上げます。

只今、「卒業証書」を授与いたしました248名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。3年間、または6年間よく頑張りました。日々の朝夕礼で自然の恵みに感謝し、世界人類の平和を祈り、父母祖先に感謝する「行」は、豊かな心を育てる基本であります。

明德生活で皆さんが真剣に向き合ってきた日頃の努力や苦勞の積み重ねは、強靱な精神力となり永久に変わることなく、それは将来、

送 辞



在校生代表 続木 虎太郎

凛とした寒さの中にも梅の蕾が顔を出し、力強い生命力を感じる季節、6年生の皆様本日はご卒業おめでとうございます。在校生一同心よりお祝い申し上げます。

まだ未熟な私たちがどんな時も頼りにしていた先輩方と今日でお別れとなると寂しい気持ちでいっぱいです。先輩方と過ごした日々、様々な場面でいつも私たちが引っ張ってくださった一刻一刻を、今、鮮明に思い出します。大事な場面で緊張し、何も出来ずにいた時、先輩方は決まって「大丈夫、こんだけやってきたんや」と声をかけてくださり、いつも通りの落ち着いた取り戻すことが出来ました。そんな先輩方との毎日が私たちにっては何にも代えられない宝物になりました。

私たちは、何事にもひたむきに取り組まれる先輩方のお姿から学んだことがあります。仲間を大切にすること、そして挑戦し続けることの大切さです。入学当初は、慣れない明德で生活することに必死で、失敗することを恐れ、新しいことに挑戦する気持ちが持てずいました。このままでは先輩方に追いつくことが出来ないと悩むこともありましたが、そんな私達の背中を押し、本当の兄のように時には厳しく、時には優しくご指導してくださり、前に進むことが出来ました。私たちは、今日まで先輩方がこの明德で築きあげてこられた伝統を受け継ぐとともに、明德魂を次の代へと繋ぎ、新たな明德義塾を作り上げていけるよう努力していきます。

これから先輩方が進まれる道には、多くの壁が立ちちはだかるかもしれません。そんな時には「不撓不屈」の精神を思い出ししてください。そして、これまでのように何度でも起き上がり、新しいことに挑戦し続けてください。先輩方なら必ず乗り越えられると信じています。卒業生の皆様方への感謝の思いと、今後のご活躍をお祈り申し上げ、在校生代表の送辞とさせていただきます。

何事にも全力で立ち向かう勇気を奮い立たせ、社会に有用な人材となる証を打ち立ててくれると私は信じています。

留学生の多くは大学入試など諸事情により、この会場に参加できておりません。異国の地・日本で、文化・習慣・言語の違いを乗り越えよく頑張りました。多大な努力に対し、称賛の拍手を贈ります。

今後、それぞれの国と日本との「かけ橋」となり、世界の平和と発展のために活躍する日が実現することを私は確信しております。また、彼らが困った時、辛い時に手助けしてくれた日本人の友人たちにも、厚くお礼を申し上げます。

明德の教育環境はここ数年、大きく発展してまいりました。2年前に、文科省よりDXハイスクール推進校の認定を受け、国立は一橋大学、公立は高知工科大学、私立は麗澤大学の協力のもと、卒業するこの学年はデジタルスポーツサイエンスプログラム初年度の実施を担ってくれました。大学から来ていただいたこの分野で最先端の教授陣による、通常授業とは違う高度な学びは生徒にとって戸惑うことも多くありましたが、それぞれがよく考え、楽しい雰囲気の中で進めることができました。皆さんの実績が実を結び、2年目の今年度は全国で20校しか選ばれないDX重点型グローバル校に認定されました。

昨年からデジタルスポーツサイエンスに加え、今年度はデジタル技術を使った国際的なプログラムも実施しております。着実に発展する教育環境の中で、これらの高度な研究プログラムに一生懸命に取り組む生徒の姿勢は大変誇らしく思っております。

近年、学内の諸活動の結果には目を見張るものがあります。今年度は夏のインターハイや国体を含めて全国大会3位以内12個（金メダル3個、銀4個、銅5個）に加え、日本代

答 辞



卒業生代表 新地 海人

地面にしつかりと根を下ろし、冬を乗り越えたたんぼが芽を出し始め、春の気配を感じられる季節となりました。

先生方、家族、そして在校生の皆さんに囲まれ、卒業式を迎えられたことに改めて幸せを感じています。

6年、また3年前、慣れない校舎に右往左往し、新しくできた友人とのぎこちない会話から私たちの明德生活はスタートしました。卒業証書を手にした今、この学び舎で過ごした思い出が鮮明に蘇ってきます。その中でも私は体育祭が一番に残っている行事です。「高知県で最も大きな国際社会」と言われる明德の体育祭は、本校・竜そして留学生と日本人が一つになって協力し、応援したりしている姿がとても脳裏に残っており、仲間意識が深まったことを実感できました。

明德での生活は、友達との会話が楽しく、些細なことでも盛り上がり、時には喧嘩することでも人々との関わり方などを学ぶことが出来ました。みんなが居てくれたおかげで日々の学校生活や寮生活が充実し、クラブ活動の厳しい練習も頑張ることが出来ました。辛い日々もあったけれど、すべての時間が私の宝物です。

また、どんな状況であっても私たちがのこることを理解しようとし、一番の応援団であった家族。悩んだ時には相談に乗ってくれ、いつも私たちのことを気にかけてくれたことを本当に感謝しています。家族がいてくれたから頑張れたことが沢山あります。これからも心配をかけることがあると思いますが、変わらず温かく見守ってください。

在校生の皆さん、私たちは先輩としてどのような存在として映っていたでしょうか。厳しい練習にとともに汗を流し、ともに涙を流した毎日を今、強くかみしめています。皆さんの力が私たちの力となり、私たちだけでは決して勝ち取ることのできなかった勝利をつかむことができました。しかし、あと一步に手が届かず涙を飲

表選手が野球、卓球、カヌー、ソフトテニス、ゴルフから10名排出という素晴らしい結果となりました。年度末には後輩たちが先輩方の記録を伸ばしてくれることが期待されます。これは日頃から厳しい練習の積み重ねの結果であり明德の大きな歴史となるでしょう。また、学習面においてもTOEIC700点以上5人、英検準1級取得者12人、英語教員でも取得が難しい1級取得者も5人排出することが出来ました。

このように同じ学校の中で部活動・学習両面で当たり前のようにトップレベルの仲間がいることは、互いに良い刺激となり、お互いを切磋琢磨し、高めあう良好なスパイラルを生み出します。

吉田圭一理事長はよく「明德人」と言われます。国境のない教室や寮環境の中で互いに目標を持ち、ともに進んでいく生徒たちに、出身国や地域など考える必要がないこととです。文化習慣や言語の違いを乗り越え、14ヶ国300人を超える留学生と起居を共にする学校生活は、想像を絶する困難があったと思います。

しかし、それを当然のことと受け止める確かな文化がこの明德の地で育っていることは、他校に類を見ない素晴らしい国際交流実績の場であろうと誇りに思います。国境を越えた互いの関係は、まさに明德人として一生の宝となると確信しております。

最後に明德創立者吉田幸雄先生のことばを卒業する皆さんへの花向けの言葉にしたいと思います。「どんなことがあっても相手を恨んではい

けない、憎んではいけない、自分が悪いと思つて神様に謝罪し、相手の幸福をお祈りしなければならぬ」

これはある中学生が学校生活に疲れ、学校をやめようとして先生に相談したところ、病床にあった先生が巻紙に筆でさらっと書いたものです。

人は困難に遭遇した時はつい相手ばかり攻めてしまう傾向にあることを戒め、自分自身を見つめなおすよう示されたうえで、幸雄先生はさらに「相手の幸福を祈らなければいけない」とまで諭したのです。

人生には困難はつきものです。しかし私たちの幸・不幸は困難や試練をどのように受け止め、どう対処するかによって決まってくるのです。聖人をはじめ偉人と呼ばれている人々はみな大きな苦難に遭遇していますが、一般の人々と異なるのはその受け止め方なのです。これらの人々は苦難を自己がさらに向上するための好機としてとらえ、感謝しつつ、その人生を自ら開拓していったのです。これは、卒業生の皆さんがこれからの人生で直面するであろう、どのような困難や問題をも解決に導いてくれる「マジックワード」だと思います。世界中に広がればどんな困難も解決するはずです。

人生の旅に疲れた時は、いつでも明德に帰ってきてください。正門の碑「ようこそおかえり、清く、正しく、逞しく」の言葉が皆さんを迎えてくれます。

48期生のこれらの活躍を期待し、お祝いの言葉とさせていただきます。



んだこともありました。私たちがそこから学んだことは「真の敵は己にあり」ということでした。敵は相手ではなく、自分に負ける心にあると気がついた時、私たちには新しい希望が生まれました。

私たちは今日、皆さんにバトンを渡し、明德の新しい未来を託します。明德で過ごす時間は自分が成長できるかけがえのない時間です。だからこそ、一日一日を大切に過ごし、自分の夢を叶えてください。皆さんの活躍を卒業生一同心から願っています。最後になりましたが、どんな時も私たちが支

えてくださった先生方。これまで本場にありありがとうございました。今日を境に私たちは明德義塾から卒業し、新たな場所に飛び立ちます。これからも先生方から学んだ、支えてくれる人たちへの感謝の気持ち、そして何度踏まれても咲くたんぼのように立ち上がり、悔いの残らない人生を歩んでいけるよう精進してまいります。これまで私たちの学校生活に携わってくださったすべての方々に御礼申し上げますとともに、明德義塾のますますのご発展をお祈りし、答辞の言葉とさせていただきます。

◆2025年度 卒業生各賞 (敬称略)

- 【私学会長賞】**川村環
- 【理事長賞】**新地海人
- 【日本学生野球協会表彰選手】**池田佑二
- 【スポーツ特別賞】**齋藤俊太郎・竹本薫乃・渡邊心葉・木本琉偉・三田勇人・池田陸人・高橋稜・西山友晴・加藤欽基・福島惇・藤森海斗・池崎安侍朗・松井菜翔・吉田耀斗・新垣壮左・加用万周・浮田宏輝・森田晟仁・堅田一成・浜田聖菜・浜田新菜・佐藤小洛・高橋稀帆・佐藤美羽・和田菜々瀬
- 【検定特別賞】**(検定(英検・TOEIC等)) KATTINANON TEETHAWAT (英検1級 TOEIC985 IELTS8.5)・SPENCER CHRISTOPHERANDREW (英検1級)・RACHARUGSA SUPHANUT (英検1級 TOEIC940 IELTS7.5)・JP SANAUNGENG (英検準1級 TOEIC850 IELTS7.0)・陳上 (英検準1級)・JITVIMONPAT PANNAWAT (英検1級 TOEIC955)・近藤啓日 (英検準1級 IELTS6.5 TOEFL101)・川村環 (英検準1級 IELTS6.5)・福田民枝 (TOEIC740)・張靈兒 (英検準1級 TOEIC825 数学検定準1級)・房成芸 (TOEIC760)・李澤祥 (文部科学省外国人留学生学習奨励費給付対象者)・CHAREONKUL KULSURANG (英検準1級)・BUI NGOC GIA HAN (英検準1級 TOEIC715)・MACHIDA SHULI ANNALEE (英検1級 TOEFL107)・CHULTEM TSETSENBILEG (英検準1級)・MUNKH ERDENE TUVSHINTUR (英検準1級 TOEFL107点)
- 【優等賞】**長戸涼雅・田岡岡・高野耀平・西山友晴・塩田竜之介・川村環・福田民枝・齋藤俊太郎
- 【日本語コース優秀賞】**NARANTOGTOKH TUMUR OCHIR・MACHIDA SHULI ANNALEE
- 【皆勤賞(6年間)】**浜田聖菜
- 【皆勤賞(3年間)】**真田仁太・多田千幸里・松本惺翔・加藤欽基・SPENCER CHRISTOPHERANDREW・田路颯大・吉田耀斗・袁玓・袁眞佳・THUNYACHAROEN WARITTHORN・PHOUNGMALEE NATHAPHONG・CHAREONKUL KULSURANG
- 【精勤賞(3年間)】**筑奏新・竹本薫乃・大山太雅・岡健心・高倉夢斗・中西俊太・藤森海斗・山本朝日・岸本稟・山田惟友・浮田宏輝・山崎恵雅・SUPSAMARNWONG INCASUK・吉田潤生・岩崎ひなた・大友蛍・小河美羽・森山優花・BAEK JIHEON・熊健・李光雲・劉鹿涵・井村結寧・内山晃伸・齋藤俊太郎
- 【寮努力賞】**(男子寮) 大嶋優笑・新地海人・土居絢心・海江田翔生・山崎恵雅・内山晃伸 (女子寮) 高橋稀帆・森山優花・小河美羽・大友蛍・上村花凜・石原舞子・福田民枝・長町祐花
- 【クラブ功労賞】**(剣道) 土居絢心 (卓球) 渡邊心葉・齋藤俊太郎 (野球) 松井菜翔 (相撲) 坂本遼 (バスケ) 名本惺飛・森山優花 (バレーボール) 上村花凜 (ソフトボール) 吉田耀斗 (ソフトテニス) 木本 琉偉・上田 椿 (サッカー) 天野慈穂 (硬式テニス) 吉田潤生 (柔道) SUKHBAT ENKHUCHRAL (ゴルフ) 井村結寧・曾山堅士朗(相撲) 松崎天聖・浜田新菜 (合気道) 謝曉芸 (和太鼓) 佐藤美羽 (自然科学) 袁玓 (吹奏楽) 長町祐花 (美術) INTHAVORNUP CHAYADA (コンピューター) 丁詩語 (弓道) JP SANAUNGENG (国際演劇) 川村環 (ESC) 近藤啓日 (JAPAN) OYUNBOLD KHULAN
- 【卒業記念品授与】**今西早和**【卒業記念品贈呈】** 齋藤俊太郎
- 【カナダ デュアル サティフィケート】** 近藤啓日・塩田竜之介・福田民枝

インタウンサップ チャヤダ

6年特進II
美術部
タイ

今の私は、3年前の自分とは本当に大きく変わったと感じています。初めて明德義塾に来た日は、不安と緊張で胸がいっぱいでした。しかし、友達や先生方、そして後輩の皆さんに支えられ、毎日が少しずつ大切な思い出になっていきました。日本語や日本の文化に戸惑い、苦労することもたくさんありましたが、副寮長として過ごした日々は、私に責任感や人を思いやる心を教えてくれました。多文化が集まる環境の中で学び、さまざまな価値観に触れられたことは、私にとって一生の宝物です。後輩の皆さんへ。自分のペースで、少しずつ挑戦を続けてください。間違いを恐れず、明德でしか作ることのできない特別な思い出を、たくさん残してほしいと思います。

私は、絵を描くことが好きで、日本の美術大学に入りたいと思い明德に留学してきました。初めはとても怖かったです。日本人と話すことができるだろうかと不安でしたが、今は良い友達もできて来ることができて少し戸惑ったのは、ごみの分別にとても本気しいです。寮生活で少し戸惑ったのは、ごみの分別には色々な国などあります。タイではごみの分別はしません。明德には色々な国から来た学生がいるので日本語や英語、タイから来た先輩とはタイ語で話します。色々な言語を使うことはとても良いことです。もっと日本語を頑張って、美術の大学に入りたいと思います。

4年日本語I
インタウンサップ
チャヤダ
(タイ)



ジェーピー サン アウン セン

6年特進I
弓道部
ミャンマー

この3年間で、私は多くの人と出会い、さまざまな経験や思い出を重ねてきました。思い描いていた夢を実現できたこともあれば、まだ自分には足りないと感じることもあります。その一つひとつが、自分自身を成長させてくれた大切な経験だと思っています。明德義塾では、毎年イングリッシュキャンプが行われています。私はそのプログラムにボランティアとして参加し、教科書だけでは学ぶことのできない多くのことを学びました。実際に人と関わり、伝え合う中で得た経験は、英語力だけでなく、物事を多角的に考える力を育ててくれました。これらの経験を大切にしながら、大学では国際学部で学び、異なる文化や価値観を理解できる人になりたいと考えています。明德義塾での学びと出会いに心から感謝し、先生方から教えていただいたすべてのことを胸に刻み、これからの人生に生かしていきたいと思っています。



4年日本語I
ジェーピー・サン・アウン・セン(ミャンマー)



吉田 耀斗

6年中国語
ソフトボール部
大阪府

入学してからの3年間は、本当にあっという間に過ぎていきました。入学当初は分からないことばかりで、困ることも多くありましたが、そんな時に同じ中学校出身の先輩が親身になって助けてくれたことを、今でもはっきりと覚えています。その先輩の姿に憧れ、「自分もあんな存在になりたい」と思うようになり、寮長を目指して日々努力を重ねました。その結果、念願だった寮長になることができ、大きな自信につながりました。また、入学のきっかけでもあったソフトボールでは、厳しくつらい練習を乗り越える中で、精神面・技術面ともに大きく成長することができました。その成果として、全国大会で3位という結果を残すことができた時は、本当にうれしく、忘れられない思い出となっています。実は、あの頃の厳しくつらかった練習さえも、もう一度やりたいたと思ってしまいます。学校生活では、良い友達にも恵まれ、普通では味わうことのできない、非常に濃い3年間を過ごすことができました。厳しい環境や寮生活の中で成長できたのは、常に支えてくださった先生方のおかげです。入学当初は、「選択を間違えたのではないか」と思うこともありましたが、今では明德義塾に来て本当に良かったと心から感じています。これからは、ここで培った経験を生かし、どんなことにもへこたれず、前向きに挑戦し続けていきたいと思っています。



4年中国語
吉田 耀斗(大阪府)

私はソフトボールをしたいと思い明德に入学しました。2カ月が経って思うことは、明德生として恥じないよう行動に気を付けたいということ。明德に来て良かったことは、ソフトボール部の先輩が優しく色々なことを教えてくれることです。これからは、さらにソフトボールに磨きをかけて、学校生活ではみんなの模範になれるよう心掛けて自分を大きく成長させたいと思っています。

長町 祐花

6年英語
吹奏楽部
香川県

私は、留学生との交流が多いことに魅力を感じ、明德に入学しました。寮生活やクラブ活動を通して、さまざまな国から来た友達と出会い、他国の言葉や文化に触れることができました。毎日が新しい発見の連続で、とても充実した高校生活を送ることができたと感じています。高校生活の中でも特に印象に残っているのが、10か月間のオーストラリア留学です。留学当初は、言葉や生活の違いに戸惑い、何も分からず不安でつらいと感じることもありました。しかし、現地の人々はとても温かく、ゆっくり丁寧な多くのことを教えてくれました。その支えのおかげで、次第に環境にも慣れ、充実した留学生活を送ることができました。現地でできた友達と出かけたり、一緒にランチを楽しんだりした時間は、本当に楽しく、今でも心に残る大切な思い出です。この高校3年間で得た出会いや経験は、これからの人生においても大きな財産になると感じています。



4年英語
長町 祐花(香川県)

私が明德に入ろうと思った理由は、寮生活と留学生との交流が多いところに心ひかれたからです。地元ではなかなかできない経験がしたいと思い明德に入学しました。明德に入学してカナダのことを教えてもらったり、逆に教えてあげたりと本当に面白くて楽しいです。もちろん辛いことや大変な面もありますが、仲間が頑張っている姿を近くで見ると私も頑張ろうと前向きになれる。これからは英語の勉強と部活動にもっと力を入れていきたいです。

坂本 遼

6年C組
相撲部
高知県

私は中学1年生の時に明德に入学し、6年間をこの山あいの学校で過ごしてきました。今振り返ると、ここでの生活は、他の高校では決して味わうことのできない、貴重な経験の連続だったと感じています。部活動では、常に全国大会入賞を目標に掲げ、日々の稽古に真剣に取り組んできました。6年間の中で、その目標を達成することはできませんでしたが、相撲が未熟だった私に対し、監督は基礎から丁寧に指導してくださいました。その積み重ねにより、自分自身の持ち味を生かした、私にしかできない相撲の形に少しずつ近づくことができたと思っています。学校生活や寮生活を通して、全国各地、さらには海外から来た仲間たちと関わる中で、多くの友人に出会うことができました。自分のことは自分で言い、困っている人がいれば協力を惜しまない生活の中で、自立心と協調性を自然と身につけることができました。この6年間、私は本当に多くの人に支えられてここまで歩んでいくことができました。両親をはじめ、顧問の先生方、友達や後輩など、ここで出会えた一つひとつの「縁」に心から感謝しています。これからは、この山の中で培った忍耐強さと、人とのつながりを大切にする心を、今後の人生に生かしていきたいと思っています。



4年C組
坂本 遼(高知県)

相撲部が昔から強く、多くの力士を輩出しています。僕も強くになりたいと思って明德に入学しました。僕は今年で4年目になりますが、今でも強くになりたいという気持ちは変わりません。むしろその気持ちがもっと強くなりました。明德に入学してキツイと思ったことは、学校が終わってすぐくっついて稽古をすることです。明德に来て良かったこと中稽古を増えたことです。みんなの仲が良は、稽古相手が増えたことです。みんなの仲が良ければ、ライバル意識を持って毎日良い稽古ができています。今の目標は全国大会で入賞することです。そのために手を抜かず頑張ります。

森山 優花

6年特進I
女子バスケットボール部
大阪府

私は「必ず全国大会に出場する」という強い目標を胸に、明德義塾女子バスケットボール部に入学しました。この3年間、バスケットボールに打ち込む中で、悔しい思いや苦しいと感じることも数多くありました。それでも、女子バスケットボール部の1期生として、経験も歴史も全くない状態からここまで歩んでこれたのは、保護者の皆様をはじめ、学校の先生方、そして私たちを温かく応援してくださった多くの方々のおかげです。そして創部3年目となる今年、私たちは初めて全国大会であるウィンターカップに出場することができました。この大会は、私たちにとって最初であり、そして最後の全国大会でもありました。全国の舞台では、これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちを胸に、明德らしく最後まで笑顔を忘れず、全力で戦いました。結果に悔いはありません。ここまで仲間と共に歩んできた日々は、私にとってかけがえのない宝物です。明德に来て、本当に良かったと心から思っています。



4年特進
森山 優花(大阪府)

女子バスケットボール部に入るために来ました。最近やっと学校に慣れてきて、今は学校が楽しいなあって感じています。一番戸惑ったのは寮のルールです。まだまだ慣れないことはありますが、分からないことは先輩が教えてくれます。優しい先輩が多くてうれしいです!(笑)バスケットボールで全国大会に行きます!!

Youは何しに明德へ?

Why did you come to Meitoku?

あれから3年、卒業を迎えて

新地 海人
6年B組
高校野球部
広島県

僕は、父と兄に憧れて同じユニフォームを着て甲子園でプレーしたいと思い明德に入学してきました。野球と勉強に集中できる環境で学べることが良かった点です。最初は、朝礼や夕礼のやり方が分からず戸惑いましたが、今は学校にも慣れて案外生活ができています。寮生活を通して、親のしく生活ができています。寮生活を通して、これからの目標は、野球で背番号をもらって全国大会で優勝することです。人として成長できる高校生活にしていきたいです。

4年B組
新地 海人(広島県)

僕は、3年前に立てた目標を達成することはできませんでした。しかし、その一方で、3年前には想像もしていなかった経験をさせてもらいました。寮長として、そして生徒代表として、多くの責任ある立場を任せてもらったことは、今振り返っても大きな財産です。この3年間は、毎日が本当に楽しく、1日1日がとても濃い時間でした。友達と話したり遊んだりするのが楽しかった反面、寮で叱られたことや、クラブでの厳しい練習など、つらいこともたくさんありました。でも今では、それらも含めてすべてが良い思い出です。明德に入学したばかりの頃は、しんどいことが多くて、早く卒業したいと何度も思っていました。けれど、卒業が近づくにつれて、「もっとこの仲間たちと一緒にいたかった」と心から思うようになりました。在校生のみなさんには、ここで過ごす時間を大切に、ぜひ色々なことに挑戦してほしいです。この3年間、たくさん迷惑をかけたと思います。そんな僕を最後まで支えてくださり、本当にありがとうございました。

スクバット エンフオチラル

6年E組
柔道部
モンゴル

3年前、私は自分を試し、夢に近づくために明德義塾へ来ました。入学当初から、すべてが順調だったわけではありません。授業や学校生活と、柔道部での厳しい練習を両立する中で、疲れや迷いを感じることも多くありました。それでも、仲間の支えや先生方の熱心な指導、そして自分自身の粘り強さが、決してあきらめない心を育ててくれました。怪我や失敗も決して無駄ではなく、一つひとつが大切な学びとなり、今の自分を形づくっています。この3年間で過ごした時間は、私にとってかけがえのない財産です。これからも恐れることなく前に進み、さらに強い人間を目指して、挑戦し続けていきたいと思っています。

私は、柔道をするために明德に来ました。柔道部の植垣先生がわざわざモンゴルまで来て、私を明德に誘ってくれました。植垣先生の教え方がとても上手だったので日本での生活する決心をしました。柔道部のみんなは優しく、先生は親切です。毎日楽しく練習しています。明德は、時間が厳しく決められていますから、クラブや勉強に集中して取り組めるのでとても良い環境だと思っています。今の目標は、インターハイでよい試合をすることと日本語を向上させることです。



4年日本語II
スクバット・エンフオチラル(モンゴル)

ハイスクールジャパンカップソフトテニス県選考大会



1月31日、第55回ゴーセン杯争奪ハイスクールジャパンカップソフトテニス 2026 高知県ダブルス代表選考大会が春野運動公園体育館で行われました。

- 優勝** 福見優心・林寿李稀
 - 第2位** 百々哲也・石田夏稀
 - 第3位** 野本旺莉 (5年特進I)・黒羽優成 (4年英語)
 - 第4位** 川田康太 (4年D組)・宮岡海吏 (4年特進)
- 準優勝** 弘瀬美咲 (5年C組)・岡部こころ (5年特進I)
- 3位** 瀧本千宝 (5年C組)・坂吉愛美 (4年D組)



また、第55回ゴーセン杯争奪ハイスクールジャパンカップソフトテニス 2026 高知県シングルス代表選考大会が2月7日、INOUE・東部スポーツパークテニスコートで行われました。

- 優勝** 林寿李稀
 - 第2位** 福見優心
 - 第3位** 石田夏稀、前川遼
- 準優勝** 岡部こころ
- 優勝した男子ダブルス福見くん・林くんペア、男子シングルス林くんは、6月24日(水)~28日(日)に北海道札幌市山手球場で開催される第55回ゴーセン杯争奪ハイスクールジャパンカップソフトテニス 2026 への出場権を得ました。



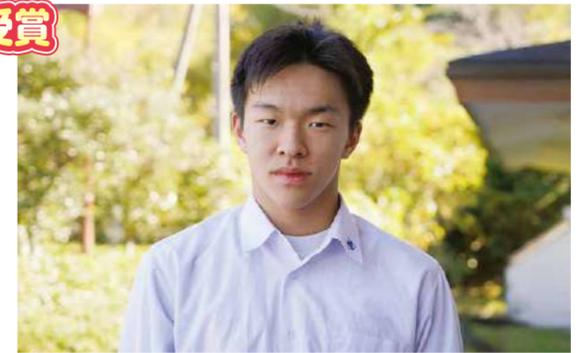
佐藤小洛さん、アディダス・オーストラリア・アマチュア選手権で堂々8位!

2月3日から6日にかけて、西オーストラリア州ゴルフクラブで開催されたアディダス・オーストラリア・アマチュア選手権に、本校ゴルフ部の佐藤小洛さん(6年英語)が出場し、見事8位入賞という素晴らしい成績を収めました。今回の出場は、昨年12月のユニクロ日本ジュニアカップでの個人優勝が評価されたもので、国内大会での快挙をきっかけに海外の舞台へと挑戦することになりました。大会期間と重なったため、佐藤さんは卒業式に出席することができませんでしたが、世界に羽ばたく大きな一歩を踏み出し、充実した4日間となりました。堂々とプレーした佐藤さんのこれからの活躍を、学校一同心より応援しています。



卓球部 柳本くん高知県スポーツ顕彰受賞

令和7年に開催された世界的規模および全国規模の各種スポーツ競技会において優れた成績を挙げ、高知県のスポーツ振興に顕著な功績があった人に贈られる高知県スポーツ栄誉賞に本校卓球部の柳本進太郎くん(3年2組)が選ばれました。柳本くんは、第29回アジアユース卓球選手権大会U15に選ばれ、男子団体3位に入賞するなど、その他多くの大会で好成績を残しました。



高新スポーツ賞の顔 卓球

2026年3月の全国中学生大会、明徳義塾は3年連続となる決勝へ進出した。その前、第2回選手権大会で、前年優勝した明徳義塾と対戦した。その結果、惜しくも準優勝に終わった。しかし、この大会で、明徳義塾は、3年連続で、この大会で、優勝した。これは、明徳義塾にとって、歴史的な快挙である。この大会で、明徳義塾は、3年連続で、この大会で、優勝した。これは、明徳義塾にとって、歴史的な快挙である。

技磨き三度目の正直



明徳義塾卓球部は、3年連続で、この大会で、優勝した。これは、明徳義塾にとって、歴史的な快挙である。この大会で、明徳義塾は、3年連続で、この大会で、優勝した。これは、明徳義塾にとって、歴史的な快挙である。

高知新聞 2026年2月12日

四国中学生 インドアソフトテニス大会

第40回記念四国中学生インドアソフトテニス大会が令和7年12月26日、27日に愛媛県総合運動公園体育館で行われました。

- 【男子団体戦】** 準優勝 伊藤一志(2年2組)・佐藤和哉(2年2組) 山本悠人(2年1組)・景山成(1年2組)
- 【男子個人戦】** 準優勝 山本悠人・景山成
- 第3位** 伊藤一志・佐藤和哉



県インドアソフトテニス大会

- 高知県インドアソフトテニス選手権大会が2月11日、春野総合運動公園体育館で行われました。
- 優勝** 福見優心・林寿李稀
 - 第2位** 百々哲也・石田夏稀
 - 第3位** 柴崎雄斗(3年2組)・大平庚真(3年1組)、田代恭太郎(3年2組)・福見哉太(3年2組)

全日本高等学校選抜 ソフトテニス大会四国地区予選

第51回全日本高等学校選抜ソフトテニス大会四国地区予選大会が1月17日、18日に鳴門・大塚スポーツパーク体育館で行われました。【男子団体戦】 準優勝 福見優心(5年特進I)・林寿李稀(4年C組) 添田玲音(4年特進)・前川遼(4年C組) 百々哲也(4年D組)・石田夏稀(4年C組) 天野晃磨(4年C組)・ショート・アンセル(5年特進I) 3月27日(金)~30日(月)に愛知県名古屋市日本ガイシホールで開催される第51回全日本高等学校選抜ソフトテニス大会への出場権を得ました。



DXハイスクール事業 スポーツデータサイエンス発表会開催 ～「チームおにぎり」麗澤大学ReiDACに出場～

本校では 2024 年度より DX ハイスクール事業の一環として、麗澤大学と連携した「スポーツデータサイエンス学習」に取り組んでいます。5年C組では「スポーツデータサイエンスの応用実践スポーツメーカー編」と題した全6回の授業を実施し、その集大成として1月22日に健康アプリ開発のアイデア発表会を行いました。

当日は9グループが参加し、大学の先生方や学生から助言をいただきながら最終調整を行いました。生徒たちはアンケート分析などのデータを活用し、独創的で実用性の高い提案を堂々と発表しました。午後の結果発表では上位3チームが選出され、見事優勝に輝いたのは「チームおにぎり」(財津璃愛さん、柏井姫夏さん、瀧本千宝さん、今井里紗さん)です。大学の先生方からは、提案の完成度の高さや発表時の姿勢が高く評価され、生徒たちにとって大きな学びの機会となりました。



麗澤大学[ReiDAC]に参加

この評価を受け、「チームおにぎり」は2月12日、麗澤大学で開催された「ReiDAC」に高校生として初めて参加しました。チームは、歩くことで発症リスクの低下が医学的に証明されている病気についてインターネットで調査し、さらに身近な明徳生へのアンケートも実施。その分析結果をもとに健康アプリを企画しました。校内発表時の内容をさらにブラッシュアップし、より具体性と説得力を高めた発表となりました。当日は緊張しながらも、はっきりと分かりやすい言葉で堂々とプレゼンテーションを行い、質疑応答にも的確に対応しました。参加後、生徒たちは「緊張したけれど、とても良い経験になりました」と充実した表情で語っていました。今回の挑戦は、データを活用して社会課題の解決を目指す実践的な学びとなり、生徒たちの大きな成長につながりました。今後も本校では、大学と連携した先進的な学びを通して、生徒の可能性を広げていきます。

4年英語コース留学出発



1月30日、4年英語コースの生徒5名が、それぞれカナダとオーストラリアの留学先へ向けて出発しました。今回留学するのは、〈カナダ〉豊田 稔涼くん、松浦 希明さん、オ ヒョンジさん、スエナガ アリカさん、〈オーストラリア〉高橋 一心くん、これから1年間、海外での生活・学びを通して大きく成長することを期待しています。

カヌー=冬季大会

高知県高等学校男・女カヌー競技冬季大会が1月17日、須崎市立スポーツセンター坂内カヌー場で行われました。



【男子カヤック】

優勝 佐竹海頼 (4年中国語)

第4位 ワニチャヨパコーン ポチャラ (5年D組)

第8位 コンチャレン ブンヤパン (5年D組)

【女子カヤック】

優勝 岡村明咲

【女子カナディアン】

優勝 アヤンガオラム オンダラハ (5年特進II)

カヌー一部3名が 各賞受賞

○高知県児童生徒表彰 スポーツの部
堅田一成 (6年特進I)

岡村明咲 (4年特進)

○高知市スポーツ賞

優秀 岡村明咲

楠瀬希昇 (3年2組)

○高知県スポーツ協会表彰

優秀賞 堅田一成

岡村明咲

楠瀬希昇



全国高等学校柔道選手権大会高知予選



1月11日、県立武道館で第48回全国高等学校柔道選手権大会高知予選が行われました。

男子団体 準優勝

男子個人 73kg級

優勝 國澤天晴 (5年C組)

無差別級

第3位 岡林大翔 (4年C組)

県中学校柔道新人大会

1月25日、県立武道館で第55回高知県中学校柔道新人大会が行われ団体優勝、個人でも優秀な成績を収めました。



男子団体 優勝

男子個人

55kg級 準優勝 岡崎晃貴 (1年1組)

第3位 新谷豪 (1年1組)

66kg級 第3位 大前孝仁 (2年2組)

73kg級 準優勝 大谷真広 (2年1組)

81kg級 優勝 西岡快莉 (2年2組)

県立大学校出前授業

1月23日(金)、本校4年B組の教室およびグラウンドにて、高知県内出身の本校在寮生(高校1年生・2年生)を対象とした「林業体験学習」を実施しました。

はじめに、林業大学校の講師の先生より、動画やスライドショーを用いた講義を行っていただきました。

木材がどのように利用されているか、林業とはどのような仕事なのかを、具体的な映像とともに学び、生徒たちは普段触れる機会の少ない林業の世界に強い関心を寄せていました。

後半は、グラウンドにて実習体験を行いました。使い方のレクチャーを受けた後、実際に丸太切りに挑戦しました。多くの生徒が6~10分以上かかるなど苦戦する様子も見られ、男子生徒でもかなりのハードワークに。女子生徒も声を掛け合いながら力を合わせ、和気あいあいと取り組んでいました。

切り終わった切り株には各自の名前とタイムを書き入れ、記念としてプレゼントされました。

現場で使用される防具を着用し、安全指導を受けたうえでチェー

ンソーを使用しての体験も行いました。手鋸では苦戦していた丸太も、チェーンソーでは全員が約10秒で切断し、機械の力強さと安全な取り扱いの大切さを実感する体験となりました。生徒たちは、「進路の選択肢が広がった」「やってみると意外と楽しかった」「貴重な体験になった」など、前向きな声が多く聞かれました。

林業大学校の講師の先生からは、「まずは林業という分野を知ってもらえただけで十分。興味を持ってくれた生徒にはぜひオープンキャンパスにも参加してほしい。来年度もぜひ継続したい」とのお話をいただきました。

今回の体験学習を通じ、生徒たちは林業の魅力や社会を支える仕事としての役割を実感し、進路を考えるうえで大きな刺激となりました。



美術部入選



【グラフィックデザインの部】

第20回記念特別賞

【個展 THINKING】

殷 喆 (5年特進II)

新人賞 「童年」 盧 雨菲 (4年日本語IV)

入選 「脳」 趙 若涵 (4年日本語II)

【洋画の部】

新人賞 「絶望の愛」

ビャンパドルジ・ウレムジ・オユタ

(6年日本語II)

空手部7名が各賞を受賞



2月25日、土佐市つな一にて「土佐市スポーツ賞表彰式」が行われ、本校から空手部の西岡宏哲くん(6年特進I)、竹内大智くん(4年中国語)、野口航平くん(4年D組)、横田龍くん(3年1組)、横田竜くん(3年1組)、半谷来緒さん(2年1組)の6名が、県大会優勝や四国大会での好成績を称えられ、見事「優秀賞」を受賞しました。

また同日、安芸市民会館で開催された「安芸市児童生徒表彰式」では、本田彩楽さん(1年1組)が優秀賞に選ばれ、晴れて表彰を受けました。

今回の受賞は、日々の努力と挑戦の積み重ねが実を結んだものです。



韓国・光州国際高校より短期研修

韓国・光州国際高校より1月27日から29日にかけて、生徒15名と教員3名の皆さんが短期研修で来校されました。滞在中は、日本語や韓国語を交えた交流授業を行い、生徒同士が互いの文化や学校生活について楽しく語り合う貴重な時間となりました。また、本校のクラブ活動の見学では、部員たちと活発にコミュニケーションを取りながら、それぞれの活動内容に関心を示していました。さらに、高知県内の観光名所も訪れ、日本の自然や歴史に触れる充実した研修となりました。



台湾樹人医護管理専科学校より短期留学

台湾樹人医護管理専科学校より1月23日から2月14日までの約3週間、3名の生徒が本校に短期留学として訪れました。来校した3名は、4年特進クラスに交じって日本の生徒と共に授業を受け、交流を深めました。授業中は日本語での説明を一生懸命聞き取り、積極的に授業に参加し、クラスの生徒たちともすぐに打ち解けていました。また、休日には高知市内の観光地巡りや、季節のイベントとしていちご狩りを体験するなど、日本の文化や自然に親しむ時間も持ちました。留学生たちは「とても楽しい経験だった」「クラスのみんなも優しく」と笑顔で話していました。

オーストラリアのオーロラ高校より短期留学生在が来校

オーストラリアのオーロラ高校より1月26日から3月14日まで、2名の短期留学生在が本校に来校しました。2名の生徒は本校の日本語コースのクラスに所属し、日々の授業を日本語で受講しました。休み時間には多くの生徒と交流し、校内には自然と英語と日本語が飛び交う温かな雰囲気生まれました。休日には、カナダからの留學生たちとともに高知県内の観光地を訪れ、日本の自然や文化を体験しました。美しい海や歴史ある名所を巡りながら、国を越えた友情を深める貴重な時間となりました。



カナダ・ルイリエル地区より短期留学

カナダ・ルイリエル地区より1月24日から3月13日までの期間、12名の短期留学生在が本校を訪れました。来校した生徒たちは、日本の学校生活を体験しながら、多くの交流を重ねました。滞在中は、日本語の授業をはじめ、日本人との交流授業にも参加。日本語でのコミュニケーションに挑戦する姿が見られ、本校生徒とも次第に打ち解け、教室には笑顔があふれていました。また放課後には、それぞれが選んだクラブ活動に参加し、スポーツや文化活動を通じて日本の学校文化を体験しました。休日には、市内の観光や買い物を楽しみ、日本の風景や文化に触れる機会もありました。短期間ながら充実した毎を送り、「また日本に来たい」と話していました。



高知県安全安心まちづくり功労団体表彰

令和7年度高知県安全安心まちづくり推進会議総会が高知会館で2月9日に行われ、本校が表彰されました。学校を代表して黒竹教頭が参加しました。高知県安全安心まちづくり功労団体等表彰【団体の部】明德義塾高等学校
主な活動地域 須崎市
地元の警察署や少年警察ボランティア協会等が主催する「地域の絆教室」において、小学生等を対象に、防犯や交通安全の啓発、炊き出し実習を通じた自助力の向上に取り組んできました。約10年にわたる継続的な活動が評価され、安全で安心なまちづくりへの貢献が認められ、表彰されました。

姉妹校から短期留学(短期研修)来校



モンゴルの姉妹校オードムモンゴルエデュケーションスクールより1月16日から22日にかけて、10名の生徒の皆さんが本校を訪れ、短期研修を行いました。滞在中は、日本語の授業や市内の観光名所を巡り、日本の歴史や文化に触れました。また、茶道体験などを通して、日本の伝統文化への理解を深める貴重な機会となりました。皆さんは積極的に学び、交流を楽しんでいました。



ミクロネシア・ジョンフリッツ大使が本校を訪問

2月3日、ミクロネシアのジョン・フリッツ特命全権大使一行が本校を視察に訪れました。ミクロネシアと高知県の繋がりは、19世紀末に高知市出身であり、日本人として初めてミクロネシアに定住した森小弁さんにまでさかのぼります。今回の訪問は、昨年が森小弁さんの没後80年という節目の年であることから、あらためて高知県との結びつきを深めるとともに、今後の中高生同士の交流促進を目的として実現しました。大使一行は、本校到着後、和太鼓部による迫力ある歓迎演奏で温かく迎え、校内見学や授業参観を行いました。留學生が多く在籍する本校ならではの国際色豊かな学習環境にも強い関心を寄せられ、熱心に寮や教室内をご覧になっていました。



リーダーズ研修

1月23日、生徒代表や寮長を中心とした生徒たちが、陸上自衛隊高知駐屯地でリーダーズ研修を行いました。研修では、まず基本教練(気を付け、やすめ、敬礼、なおれ、行進、集まれ、別れ)を体験しました。規律ある動きやチームで揃えて行動する難しさを学ぶとともに、リーダーとしての姿勢を見つめ直す機会となりました。続いて、障害走体験、隊内見学、ロープワークなど、実践的で貴重なプログラムにも挑戦しました。総部品展示やモデルルームの見学、記念撮影などを通して、自衛隊の装備や生活について理解を深めることができました。また、パワーポイントによる自衛隊概要説明では、国の安全を支える自衛隊の役割や活動について学びました。駐屯地での昼食を実際に体験する「体験喫食」も行い、隊員の皆さんの日常に触れました。隊員の方々からは「明德生は挨拶がしっかりしていて、態度もとても良い。今後もこの体験を生かし明德の中心人物として活躍してくれることを期待します」と高い評価をいただきました。参加した生徒たちは、礼儀や協調性の大切さを改めて実感するとともに、今後の学校生活やリーダーとしての役割に生かしたいと意欲を高めていました。

西武ライオンズ 松下建太マネージャー 来校！

OBの活躍

プロ野球・埼玉西武ライオンズは、2月1日から25日まで高知県にて春季キャンプを実施。

そのキャンプ期間中の2月13日、同球団マネージャーとして活躍する松下建太さん(28期生)が、本校を訪問されました。



松下さんは本校卒業後、早稲田大学へ進学。2009年に埼玉西武ライオンズへ入団し、選手として長くチームに貢献されました。現役引退後は球団職員としてチームを裏方から支え、現在はマネージャーの立場で選手たちをサポートしています。今回は「せっかく近くまで来ているので」との思いから、3年ぶりに母校へ立ち寄られました。

久しぶりの訪問に、当時の思い出話や近況報告で終始和やかな雰囲気。後輩たちとも笑顔で交流し、懐かしいひとときを過ごされました。

松下さんは「帰ってくるたびに懐かしさが込み上げる。苦しかったことも嬉しかったことも、全部。この環境で育ったら、どこへ行っても負けない強いメンタルが身につくと思うので頑張りたい」と後輩たちへメッセージをいただきました。

プロ野球界で長年努力を続け、今なおチームを支え続ける先輩の姿は、在校生にとって大きな励みとなることでしょう。

オーギルさん プロバスケットボールチーム入団

OBの活躍

本校バスケットボール部出身で、モンゴルより留学していたヒングバートル・オーギルさん(44期生)が、本校を卒業後に進学した京都産業大学を今春卒業予定で、この度プロバスケットボールチーム「福井ブローウィンズ」への入団が決定いたしました。

オーギル選手は、大学卒業を目前に控えながら、すでにトップチームの一員として公式戦に出場し、堂々たるプレーで大活躍を見せています。

明德で培った経験を胸に、さらなる飛躍を続けるオーギル選手の活躍を、今後も心より応援しています。



写真提供：FUKUI BLOWINDS



野球部卒業生によるペンキ塗りのボランティア

12月27日から31日までの4日間にわたり、本校野球部の卒業生を中心とした皆さまが、寮および学内建物のペンキ塗りのボランティア活動を行っていただきました。

今回参加してくれたのは、北口宏樹さん(11期生)、北西俊之さん(24期生)、小田怜生さん(45期生)、小田亮さん(小田怜生さんの父)、安住元輝さん(45期生)、岡崎凜汰郎さん(45期生)、徳弘光太郎さん(45期生)、クリス・スペンサー君(6年特進II)、グレン・スペンサー先生、馬淵智子先生、畚本宏明校長です。

青雲寮2階廊下および階段付近、1階ロビーと玄関、さらに食堂近くの放送棟外壁まで、全身ペンキまみれになりながら丁寧に作業を進めていただきました。

その結果、寮はまるで生き返ったかのように美しくなり、生徒たちの喜ぶ姿が目に見えます。

朝から大みそかの夕方まで、寒い中ご尽力いただき本当にありがとうございました。卒業後も母校を思い、行動で支えてくださる皆さまに、心より感謝申し上げます。

FM高知「明德義塾たんぽぽトーク」放送中

1月9日より、エフエム高知にて本校の新番組「明德義塾たんぽぽトーク」がスタートしました。

番組は毎週木曜日18時10分過ぎから放送されており、明德生の“生の声”を地域の皆さまにお届けすることを目的に企画されました。学校生活の様子や日々の取り組み、将来の目標など、生徒たちが自分の言葉で語ります。

収録では、最初こそ緊張した様子も見られましたが、マイクの前で堂々と話す姿が印象的でした。普段の学校生活では見られない一面や、それぞれの思いが詰まった内容となっています。

地域と学校をつなぐ新たな取り組みとして始まった「明德義塾たんぽぽトーク」。ぜひ毎週木曜日の夕方、ラジオを通して明德生の声に耳を傾けてみてください。



開校記念 明德神社参拝

1月28日は、明德義塾中学・高等学校の開校記念日です。この日にあわせて、全校生徒が明德神社を参拝しました。

参拝の目的は、明德義塾の先人の方々が積み重ねてこられた努力や思いに理解を深め、現在、私たちが勉学や部活動に励むことができる環境に感謝の気持ちを持つことです。

堂ノ浦キャンパスの生徒は午前中、竜キャンパスの生徒は午後に、それぞれクラスごとに分かれて参拝を行いました。参拝に際しては、各キャンパスの教頭先生より、1月28日が開校記念日となった理由や創立者の思いについての説明がありました。

生徒たちは、その話に耳を傾けながら、それぞれに思いを巡らせ、静かに祈りを捧げていました。



プロ野球・ハンファ・イーグルス 2軍通訳 イムジュンソさん(42期生) 本校へ6年ぶりの帰校

OBの活躍

2月16日、本校42期生で、現在韓国プロ野球チーム・ハンファ・イーグルス2軍の通訳として活躍するイムジュンソさんが、キャンプのオフ日を利用して本校を訪れました。

イムさんは本校卒業後、千葉県帝京平成大学へ進学。入学2年後には韓国の兵役に伴い一時休学し、復学後の今年3月に大学を卒業予定です。卒業後の進路として選んだのは、野球と日本語の経験を生かせる通訳の仕事でした。

ハンファ・イーグルスは毎年高知でキャンプを行っており、イムさんも同行。6年ぶりの明德への帰校となりました。「コロナの影響で卒業式もなかったのが、本当に久しぶりです。明德まで運転してくる途中、“こんなに田舎だったかなあ”と懐かしく思い出しながらドライブしてきました」と笑顔で話してくれました。

野球道場では、在学当時と変わらずの雰囲気を持つ馬淵監督と再会。「少し怖かったけれど、話してみるととても優しく、自分が本当に卒業したんだなと実感しました」と振り返りました。

イムさんが明德義塾へ入学したきっかけは、小学4年生から続けていた野球で、高知・室戸キャンプに参加したこと。「入学してみると野球部員がとて多くて、まさに“野球しかで

きない環境”に驚きました」と当時を語ります。現在の仕事については「1年契約なので、チームに長く貢献できるよう頑張りたい。韓国の球団でも日本語は必要とされているので、それを武器にしていきたい」と意気込みを見せました。

最後に本校の後輩たちへ向けて、「練習を見ていると、自分がここを卒業したことが信じられない気持ちです。後輩のみなさんには、これからも頑張つて、もっともっと学校を有名にしたい」とエールを送りました。



高砂親方が本校を訪問 吉田塾長と和やかに懇談

OBの活躍

2月10日、本校に高砂親方(元朝赤龍・ダシニヤムさん/22期生)が、先日行われた1月場所の報告のため来校されました。

親方は、吉田圭一塾長と場所の様子や今後の抱負について語られました。お二人は力士としての歩みや現在の部屋の状況、さらには母校での思い出など、幅広い話題で談笑され、終始和やかな雰囲気に包まれていました。現役時代から後輩思いで知られる高砂親方は、今もお相撲界を支える立場として活躍されています。

親方は「これからも相撲界の発展に尽力していきたい」と語られ、笑顔で学校を後にされました。



第15回 新キャプテン大いに語る!



高校ソフトボール部

掛水 凜空
(5年特進I / 高知県)



部員同士の仲が良いです。全国大会(インターハイ・私学センバツ)優勝が目標。キャプテンとして、オンとオフの切り替えが出来るようチームをまとめていきます。また部員一人ひとりとコミュニケーションを取りたいと思っています。

中学ソフトボール部

井上 成
(2年2組 / 高知県)



中学生は4人と少ないですが、クラブチームにも参加しながら活動しています。みんな仲良く、楽しくソフトボールに取り組んでいます。3月の四国大会、8月の全国大会に向けて、少しでも多く勝てるように頑張っています。「楽しみながらでも強い」チームを目指して、日々練習しています。

女子バスケットボール部

笹岡 初華
(5年特進I / 高知県)



個性豊かで、パワフルで、エネルギッシュなクラブです。全国大会上位入賞を目指して、日々全員で高め合いながら練習に励んでいます。キャプテンとしての自覚と責任を持って、バスケだけではなく人間性も高め、チームを鼓舞して支えることに力を入れています。

男子バスケットボール部

崎浜 裕志
(5年英語 / 沖縄県)



全国ベスト8以上を目標に日々の練習に取り組んでいます。練習中は、先輩後輩関係なく部員同士が互いに励まし合いながら切磋琢磨しています。技術面だけでなく、あいさつや掃除など当たり前のことを徹底していきます。

学習部

吉田 惟
(5年特進I / 大阪府)



私たち学習部は、大学受験に向けて日々勉強に取り組む部活です。1つの教室に集まり、一人ひとりが自分の目標に向かって努力している姿から「自分もがんばろう」と刺激をもらえる環境があります。少人数制で行う数学や英語などの補習、先生方のサポート、そして定期的な模擬試験を通して、着実に実力を伸ばしていくことが出来るのが大きな特徴です。

相撲部

アナンド アディテヤ
(4年D組 / モンゴル)



私のクラブは、明るくて仲間と切磋琢磨し合って高みを目指しているクラブです。大相撲で活躍をした横綱朝青龍関・大関琴奨菊関など多くの関取を排出しています。目標としている全国大会で優勝することを常に肝に銘じてしっかり頑張りたいと思います。

美術部

インテツ
(5年特進II / 中国)



私たちのクラブはとても専門的で有名な美術大学への体験授業によく参加できるのが自慢です。美術部は、みんなで力を合わせて展示会を作り上げます。厳しさもありますが、その分得られるものや発見も絶対に多いクラブです。

弓道部

ヘレルンバヤル グンジドマー
(5年特進II / モンゴル)



私たちのクラブは、温かく、だれもが歓迎される雰囲気があります。弓道は心を落ち着かせ、安らぎをもたらしてくれます。経験の有無は気にしないで大丈夫です。大切なのは学ぶ意欲を持ち、集中力を高めながらチームとして一緒に成長していこうとする気持ちです。

高校男子ソフトテニス部

福見 優心
(5年特進I / 高知県)



個性豊かで活気あふれる賑やかなクラブです。「日本一」を目標に日頃から取り組んでいます。キャプテンとしてテニス以外の面ではまず人間力の向上。チーム全員で1つの目標に向かって本気で取り組みたいと思っています。

女子ソフトテニス部

瀧本 千宝
(5年C組 / 兵庫県)



ソフトテニス部を引っ張る代表として成長し、県大会で勝利して全員でインターハイへ行くことを目指したい。そのために、互いを支え合い、団結できる強いチームをつくっていききたいです。

中学男子ソフトテニス部

山本 悠人
(2年1組 / 岡山県)



ソフトテニスは、ボールコントロール技術や前衛と後衛の連携が重視されます。去年、一昨年の全国大会団体戦はベスト8で終わってしまっているの、今年はベスト4以上を目指しています。キャプテンとしての自覚を持ち、私生活やソフトテニスでももっとしっかりできる1年にしたいです。

空手道部

清水 一樹
(5年特進I / 高知県)



県内の大会で全種目優勝し、全国の舞台で戦っている選手になるために、日々稽古に励んでいます。個性豊かで一緒にいて飽きないメンバーばかりです。主将として、チーム全体をまとめ、一人ひとりにしっかり目を向けられるようにします。

寮長さん

全員集合

言いたいこと
何でも言っちゃって!

2026 第18回

女子1寮

美木 彩里
(5年特進I / 徳島県)



元気な寮です。寮長として、まずは自分から率先して挨拶をしたいと思っています。全員がコミュニケーションを取れるような寮にしていきたいです。

女子2寮

**ヘレルンバヤル
グンジドマー**
(5年特進II / モンゴル)



私の寮は落ち着いていて、勉強に集中できる環境です。掃除をきちんとする。朝礼、朝掃除、点呼、夕礼、夜の掃除などに全員で取り組めるように声掛けをしています。

女子3寮

梶原 あられ
(5年特進I / 香川県)



留学生と日本人がよくコミュニケーションが取れている寮です。寮長として自らが積極的に掃除に取り組みたいと思っています。

女子4寮

**ブヤンジャルガル
テレンジドマー**
(5年特進II / モンゴル)



私の寮は、みんなが仲良く明るい寮です。違う国の人たちと助け合って生活しています。寮長として、みんなが安心して生活できる寮にしていきたいです。困ったときに相談できる環境を作りたいと思っています。

女子5寮

財津 璃愛
(5年C組 / 大分県)



寮長として、掃除の時間をもっと大切に、みんなが気持ちよく生活できる寮にしたいです。落ちているごみを拾ったり、スリッパを揃えるなど小さなことの積み重ねが大事だと考えています。自分から率先して行動し、みんなで協力しながらきれいで住みやすい寮にしていきたいです。

女子6寮

**アヤンガ オラム
オランダハ**
(5年特進II / モンゴル)



女子寮は、様々な国の人たちが一緒に共存しています。さらにクラブも違うので沢山の文化や習慣を知ることができます。みんなで仲良く協力しあうことが一番大切だと思っています。

女子7寮

**アマルバヤスガラン
エゲシゲレン**
(5年特進II / モンゴル)



他の寮と比べて7寮は、別の建物として独立しているので静かです。そのため勉強に集中できます。掃除を頑張ります。私自身もみんなと一緒に寮がもっと良くなるよう取り組みます。

種智院

小橋 萌加
(5年中国語 / 岡山県)



女子卓球部とバレー部の寮です。人数は少ない寮となっていますが、支え合い楽しめるメリハリのある寮です。みんなが安心して過ごせる温かい寮を作りたいです。挨拶や掃除を大切に、困っている人や悩んでいる人がいたらすぐ気づいて寄り添える寮長になりたいです。

大志寮

長谷川 琳
(4年中国語 / 青森県)



4人部屋で仲良く協力して生活しています。トイレやお風呂場が近く、すぐ近くに洗濯物を干せるスペースが十分にあり。区域や自分の部屋の掃除を習慣化できるように定期的な掃除の呼びかけに取り組みたいと思っています。

養徳寮

清水 一樹
(5年特進I / 高知県)



みんな元気です。楽しいこともたくさんあります。はしゃぎ過ぎる所があるので、メリハリのある寮づくりを心掛けたいと思っています。協力して1番きれいな寮を目指していきましょう!

川新寮

中尾 大和
(5年C組 / 大阪府)



川新寮には、さまざまなクラブの仲間や多くの留学生が共に生活しています。生まれた国や言語が違う中でも、コミュニケーションを取り合いながら協力して掃除をし、きれいな環境を保っています。そのおかげで、寮全体が過ごしやすく、元気で活気にあふれた楽しい空間になっています。

青雲寮

入江 大翔
(5年B組 / 大阪府)



みんなが安心して楽しく過ごせる環境づくりに取り組みたいです。挨拶やルールを大切に、困っている人がいればすぐ相談できるような雰囲気をつくっていきます。寮は全員が使う場所なので、声をかけ合いながら掃除の徹底にも力を入れています。

男子11寮・12寮

内村 啓太郎
(2年1組 / 神奈川県)



中学野球部と相撲部が生活しています。相撲部がこの寮に来てくれて寮が明るくなりました。みんなが仲良くとても楽しいです。どの寮よりもきれいな寮にしていきたいです。全員で協力してくださいね。

男子13寮

楊 佳諾
(5年C組 / 中国)



私の寮は堂ノ浦キャンパスの校舎まで徒歩1分以内と、とても便利な場所にあり。個室なので自分の時間を大切にでき、留学生も多いためさまざまな国の人と交流できます。多国籍の環境では小さな誤解や不安が生まれやすいため、私は皆の意見を積極的に聞き、問題を早く解決できるように努めたいと思っています。

男子14寮

河村 朋輝
(4年D組 / 東京都)



先輩・後輩に関係なく、寮ではそれぞれの役割をみんなで協力してこなしています。日頃の掃除や朝礼、夕礼を円滑に進めることはもちろん、愛寮デーなど特別な日には、しっかりと掃除ができるようにしていきたいです。これからは協力し合いながら、気持ちの良い寮生活を作っていきたいと思います。

男子15寮

久保 湊太郎
(5年B組 / 兵庫県)



サッカー部とカヌー部と一緒に生活する寮は、雰囲気がとても良く、特に全員で掃除を徹底していることが自慢です。みんなが気持ちよく過ごせる寮を目指して、日ごろから協力し合っています。どんなお客様が来ても「この寮なら安心して生活できる」と思っていたらいいように、これからも自分たちが率先してきれいな環境づくりに取り組んでいきたいです。

中学男子卓球部

岡村 尚弥
(2年2組 / 岡山県)



私たちのクラブは、みんなが一つの目標に向かって努力するチームです。一体感を大切に、力を合わせて試合に挑んでいます。感謝の気持ちを忘れず、挨拶やお礼をしっかり伝えられることも私たちの良いところです。先輩たちが残してくれた成績や伝統を受け継ぎながら、これからも成長していきます。

ESC

ブヤンジャンルガル テレンジドマー
(5年特進II / モンゴル)



私たちのクラブは本当に楽しくて、雰囲気も温かくて、家にいるみたいに落ち着ける場所です。クラブではいつも新しいことにチャレンジしています。私は、みんなの英語力が少しでも上達するようできる限りサポートしたいと思っています。

女子剣道部

今井 里紗
(5年C組 / 高知県)



キャプテンとして剣道でも、人間性でも高みを目指して全員で協力していきたいです。そのために一人ひとりの意見を聞きながら雰囲気の良い部活を作っていきたいです。困っている人がいたら、自然に支え合えるチームにしていきたいです。

自然科学部

コウ コウケン
(5年D組 / 中国)



私たちのクラブは畑で植物を育てたり、自然の中で動物や植物、岩石の調査や科学実験を行うクラブです。畑でとれた野菜なども留学生たちが料理をしてそれぞれの国の食べ物も作ります。特に遠征の登山は大変ですが自然の中でたくさんのお話を学ぶことができます。

中学女子卓球部

伊東 紅葵
(2年2組 / 大阪府)



私たち卓球部は、一致団結してそれぞれが目標を持ちながら練習に励んでいます。中学生は、全国中学校卓球大会での優勝を目指して日々全力で取り組んでいます。明るく元気な雰囲気の中、指導してくださる先生方や支えてくれる家族への感謝を忘れず、結果で恩返しできるように頑張っています。

男子ゴルフ部

岸本 貴裕
(4年C組 / 兵庫県)



ゴルフ部は、一人ひとりが高いレベルの目標を掲げて取り組んでいるクラブで、目標は日本一を取ることです。部員全員をまとめ、団結力のあるチームをつくりながら、一人でも多くのメンバーが良い成績を残せるように支えていきたいと思っています。また、初心者も大歓迎で、経験の有無に関わらず誰もが成長できる環境が整っています。

高校バレーボール部

永森 心湖
(5年C組 / 兵庫県)



インターハイ・春高出場を目指しています。個性豊かで明るい人が沢山います。ラスト1年、悔いが残らないよう一日一日を大切にしていきたいです。後輩たちが不安にならないよう私が引っ張って全国大会へ導きたいです。

合気道部

シュウテンラク
(5年D組 / 中国)



合気道は「和」の武道といわれます。他とぶつかる事なく、他と調和することを目的とします。他と調和するためにリラックスし、力を使わずに制していきます。楽しく、和気あいあいと稽古しています。黒帯を取得することもできます。

硬式テニス部

寺島 裕成
(5年中国語 / 三重県)



私たちのクラブは、明るく元気な雰囲気、声を掛け合いながら一生懸命練習しています。仲が良く、基礎を大切にしていることが自慢です。目標は、1戦でも多く勝つこと。初心者ばかりのチームなので、仲間と一緒に成長しながら上達していきます。

女子ゴルフ部

佐藤 梨乃
(5年英語 / 大阪府)



初心者から経験者まで楽しく活動できるクラブです。基礎練習を大切にしながら、一人ひとりのレベルに合わせて上達することを目標にしています。部員同士の仲も良く、分からないことがあれば教え合える明るい雰囲気です。

中学バレーボール部

筒井 千晴
(2年2組 / 高知県)



今年の目標は「全国大会出場」です。練習中は一人ひとりが一生懸命取り組み、楽しむときは全力で楽しむのが私たちの良いところです。再発足して2年目のまだ新しいチームですが、みんなで支え合い、応援してくれる人への感謝を忘れずに取り組んでいます。

バドミントン部

オウカンキ
(5年D組 / 中国)



いろいろな国の人が集まって、みんなで頑張っています。楽しみながら練習して、試合に勝てるように努力しています。高校でバドミントンを始める人も大丈夫です。一生懸命練習すればきっと強くなります。

吹奏楽部

小松 みひろ
(5年英語 / 高知県)



多国籍のメンバーが集まる中でも、全員の仲がとても良く、分からないことがあれば互いに教え合いながら成長できる環境があります。常に笑顔が絶えない明るい雰囲気の中で、誰もが安心して練習に取り組むことができます。

JAPAN

ガンسف エンクフスレン
(4年日本語IV / モンゴル)



JAPANクラブは、日本の大学進学を目指しているクラブです。お互いに助け合いながら、楽しく日本の文化も学んでいます。目標は日本語能力試験N2に合格することです。

中学野球部

上田 颯良
(2年1組 / 大阪府)



チームの目標である「日本一」に向けて全員で練習を頑張っています。練習では、一人ひとり意識を高く持ち、何事にも全力で取り組むことを意識しています。何事にも率先して動いて、常に周りに気を配れるようにしていきたいと思っています。新入生も一緒に頑張らしましょう!

マンガ部

ボクセイハク
(5年D組 / 中国)



マンガをはじめとするアナログ作品をメインに、自分だけのオリジナル作品を作ることを目標にしています。毎年マンガ甲子園に参加しています。週に2回、プロの漫画家の先生にマンガに関するアドバイスや手助けをしてもらえるので、本格的なマンガに触れることができます。

和太鼓部

宮田 桜華
(5年英語 / 高知県)



須崎市、土佐市を中心とした演奏活動をはじめ、全国大会や海外公演にも力を入れており、幅広い舞台で和太鼓の魅力伝えていきます。心躍るをモットーに全国大会では優勝を目標に日々稽古しています。

NIPPON

キョウ ウテツ
(5年D組 / 中国)



NIPPONクラブは、日本語を学んだり、日本文化を体験することができるクラブです。誰もが自分らしく快適に過ごすことができ、雰囲気がとても良いです。みんなが楽しめるようなイベントを企画したり、集中して勉強に向かうよう導き、クラブを活気づけたいです。

高校野球部

続木 虎太郎
(5年B組 / 愛媛県)



元気で明るく個性豊かな仲間がそり、学年を越えて仲が良いのが特徴です。全員で一つのことに取り組み、「野球を通して人間づくり」を大切にしながら日本一を目指しています。言葉でも行動でも仲間を引っ張る存在を目標に、周りへの目配り・気配りを忘れず、どんな時も笑顔で前向きに取り組んでいます。

高校柔道部

泥谷 洋助
(5年C組 / 高知県)



僕たちのクラブは、部員全員が日本一を目標として日々稽古しています。稽古中は、年上・年下関係なくアドバイスや声掛けをし、真剣に取り組んでいます。生活面では、部員全員の仲が良く、とても良い雰囲気です。

カヌー部

佐竹 海頼
(4年中国語 / 高知県)



広い浦ノ内湾で、仲間とともに日々前向きに練習しています。多くの部員が良い結果を出し、全国大会出場を目標に挑戦を続けています。全員が「楽しい」「またやりたい」と思える、明るくフレンドリーなクラブです。

高校男子卓球部

長谷川 琳
(4年中国語 / 青森県)



全国制覇を目標に、日々全力で取り組んでいます。私たちのチームは仲が良く、いつも明るく元気な雰囲気にあふれています。その中で、自分は引っ張っていく立場として、責任を持った発言や行動を心がけています。みんなと力を合わせて、最高のチームをつくり上げていきたいです。

中学サッカー部

小橋 一翔
(2年1組 / 高知県)



目標は、全国大会出場とリーグ戦クローバーリーグ昇格です。また他のクラブや先生方に応援されるチームになることです。練習中は、みんなが集中して練習している雰囲気の良いです。後輩と先輩の仲の良さが自慢です。

中学柔道部

大前 孝仁
(2年2組 / 兵庫県)



全国大会優勝を目指しているクラブです。きつい時こそみんなで支え合って目標に向かって頑張っています。目標を達成するためにキャプテンである自分が日々の練習から声を出し、チームを盛り上げて、試合で1つでも多く勝てるように引っ張っていきたくです。

コンピュータ部

シュウ シゲツ
(5年特進II / 中国)



コンピュータを使いながら、自分のペースで楽しく学べるクラブです。リラックスした雰囲気の中で、少しずつ知識を広げていくことを目指しています。誰でも気軽に参加できる、あたたかいクラブづくりを大切にしています。

高校女子卓球部

立川 釉葉
(5年中国語 / 広島県)



全員が1つの目標に向かって努力し、感謝の気持ちや人間性を学べます。チーム力でも卓球でも日本一を目指して「感謝の気持ち心はひとつ」をモットーに支えてくださっている方々に恩返しができるように頑張ります。

高校サッカー部

久保 湊太郎
(5年B組 / 兵庫県)



私たちはインターハイや選手権で勝つことを目標に、毎日の練習に全力で取り組んでいます。1・2年生みんなが仲良く、時には厳しく励まし合いながら個人としてもチームとしても強くなろうと頑張っています。苦しい時こそ声を出し、チームのために自分から行動できるよう心がけています。

男子剣道部

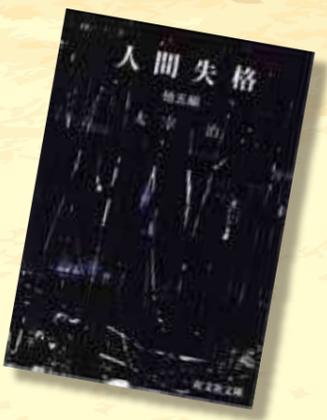
楊 佳諾
(5年C組 / 中国)



現在、部員数は少ないですが、少ないからこそ一人ひとりの絆が強く、お互いを支え合いながら練習に取り組んでいます。毎日の練習を大切に、インターハイ出場の目標に向かって最後まであきらめず全力で頑張ります。



わたしのイチオシ!



それいけ!平安部

(著:宮島未奈/小学館)
竜キャンパス図書室司書/上田由紀(高知県)

高校の入学式に同じクラスになった安以加に「平安時代に興味ない?」と、突然声をかけられる主人公葉。入学したばかりなのに「平安部を作りたい」と言う安以加のペースに押され、とまどいながらも入部を決める。新しい部活は5人以上いなければ認められないことを知った2人は、なんとかぎりぎり5人の部員を集めることができた。5人それぞれ違った個性を持った一見ばらばらなメンバーだが、蹴鞠大会や文化祭での「平安パーク」企画などを通して5人の気持ちはしだいに結束していく。地味でマイナーな文科系クラブの話?いえいえ「このメンバーだったらおもしろそう。私も入部してみたいなあ〜」と、チラッと見える楽しく元気をもらえる物語です!作者は、『成瀬は天下を取りに行く』(2024年本屋大賞)を書いた方で、中学生、高校生世代にはドンピシャのおすすめ本です!

あおぞらの星 夜回り先生と考える

(著:水谷修/日本評論社)
6年日本語I/バトサイハン ノミンゴ(モンゴル)

著者は「夜回り先生」というペンネームで、この本を書きました。若者たちが苦しみに向き合う姿を描きながら、どんな命にも価値があるということ、この本の中で強く伝えています。人は誰でも苦しみを抱えながら生きていますが、他人の思いやりや支えによって、希望を取り戻すことができます。そして、この本は生きる勇気と、人と人のつながりの大切さを教えてくれます。それは、初めは当たり前なことだと思われかもしれませんが、読み進めるうちに人の人生の大切さを、さまざまな角度から感じさせてくれます。皆さんも、この本を読んでもらったら、色々なものが見えてくると思います。

人間失格

(著:太宰治/旺文社)
6年日本語I/オユンボルド フラン(モンゴル)

読み始めたら終わりまで、思わず涙が出そうになるほど、悲しくなります。「恥の多い生涯を送ってきました」この言葉は、日本文学の中でも、最も悲しく、最も有名な始まりです。タイトルの「人間失格」は、「人として生きる資格がない」という意味ですが、本当は一番人間らしく生きていきたいと考えていたのは、太宰治自身でした。だから、この本は最後まで「本当の人間らしさとは何か」を、考えさせられます。太宰治は、自分自身の人生を、この本に書いたと言われています。読み終えた後、人の二つの顔や、嘘、そして愛がどれほど深く心に影響を与えるかを、頭でなく、心で理解できるようになるでしょう。



大丈夫、君は可愛いから。 君は絶対、幸せになれるから。

(著:yuzuka/KADOKAWA)
6年日本語I/ガン エルデネ エンクジン(モンゴル)

「どうしてあの子は愛されているのに、私はうまくいかないんだろう」と、感じている女の子に向けたやさしい本です。著者の Yuzuka さんは、恋や人間関係に悩んでいるときや、落ち込んで自分を責めてしまうときに、そっと寄り添うような言葉をくれます。包みこむように「誰かに幸せにしてもらおうより、自分で自分を幸せにしてあげよう」と、やさしく伝えてくれます。この本は「可愛くなる方法」を教える本ではありません。「そのままのあなたでいいよ」と、伝えてくれる本です。人と比べることをやめて、自分の中にある小さな可愛さや、強さを見つけたとき、世界が少しだけ明るく見えるはずですよ。

学年ビリのギャルが1年で 偏差値を40上げて慶應大学に 現役合格した話

(著:坪田信貴/KADOKAWA)
6年B組/池上太陽(高知県)

偏差値 30 で学年最下位だったギャルが、塾の先生との出会いをきっかけに、慶応大学合格を目指して、本気で努力していく実話を描いた一冊です。主人公のさやかは、周りに馬鹿にされ、父からも期待されていませんでしたが、あきらめず努力を続けます。支えてくれた塾の先生や母の存在が、彼女を大きく後押ししている姿がとても印象的でした。私はこの本を読んで「人は気持ち次第で、変わることができる」と、強く感じました。それは、私自身の勉強への向き合い方を、大きく変えてくれました。その結果、ずっと夢であった消防士に合格することができました。自分を変えたい人、夢に向かって挑戦している人に、ぜひ手に取ってほしい一冊です。きっと、あなたの背中を押してくれます。

岬のマヨイガ (映画ノベライズ版)

(作者:森川成美 原作:柏葉幸子 脚本:吉田玲子/講談社)
5年英語/長山ひより(高知県)

東日本大震災の時、避難所で行くあてがなかった17歳のユイと8歳のひよりを引き取った老女のキワさん。三人は、狐崎の岬に建っている「マヨイガ」という不思議な家で暮らすことになりました。迷い込んだ人をもてなす「マヨイガ」によって、三人はだんだんと本当の家族のように絆が深まっていきます。そんな時、狐崎では人々に幻を見せ、その悲しみを食べて大きくなる「アガメ」という海蛇のばけものが町を悲しみと恐怖で飲み込んでいました。キワさんは、「すんべすんな(心配するな)」と、二人を遠野に置いて一人でアガメに立ち向かおうと決意します。その事実を知ったユイとひよりは、大好きなこの土地と人々を守るため、たくさんの妖怪たちと一緒にキワさんのもとへ飛び出しました。「わたしたち、家族なんだから!」と。はたして三人は、巨大になったアガメから元の狐崎を守るのでしょうか…。私は、この本を読んで、傷ついていたユイとひよりの心が徐々に回復していくのが見えて、読んでいてうれしかったです。人に傷つけられた心には、人の優しさが良い薬なのかもしれないと思いました。この本は、何か嫌なことがあった人やヒューマンファンタジーが好きな人におすすめしたいです。

少年とクスノキ

(著:東野圭吾/実業之日本社)
2年2組/内原希歩(高知県)

私は、図書室の先生からおすすめしてもらってこの本を読みました。この本は、ミステリー作家の東野圭吾さんが書いた絵本です。生きることすらつらくなっている少年のことを救ったのは、一人の旅人でした。旅人は、少年に棒を渡し、こう言いました。「クスノキに会いに行きなさい。そしたら未来を見せてくれて、明日からおびえることはなくなる。」と。そう伝え終わると旅人は少年の前から去ってしまいました。少年は、旅人にもらった棒をたよりにひたすら山を越えて、クスノキを探しに行き、そして、ようやく見つけることができました。少年は、旅人に言われたように、クスノキに向かって「女神様、僕の願いを聞いてください。」と、声をかけると、女神が現れて少年の未来を見せてくれました。見たのは大人になっても迷っている自分。それは、何年経っても人は迷い続けるもの、将来への不安が消えることはないという意味でした。「毎日をまじめに生きているなら、昨日のことは振り返らず明日に向かっていけばいい!」と書いていました。これを読んだ時、この少年に言っているのではなく私に言っているのかなとこの本からそう感じとりました。この本を読んで、私と同じ思いを持つ人は多いのではないのでしょうか。今、迷いのある人に一番おすすめしたい一冊です。

海外大学

The University of Queensland	1
St. Edward's University	1
ハワイ大学マノア校	1
テンブル大学	1

国公立大学

高知大学	3
北見工業大学	2
高知県立大学	1
高知工科大学	2

私立大学

慶應義塾大学	1
早稲田大学	2
上智大学	1
東京理科大学	1
同志社大学	1
関西学院大学	6
立命館大学	8
明治大学	2
立教大学	1
中央大学	1
法政大学	1
北里大学	1
星薬科大学	1
芝浦工業大学	3
明治学院大学	1
武蔵野大学	3
日本大学	3
東洋大学	3
専修大学	1
近畿大学	7
龍谷大学	8
京都産業大学	1
関西外国語大学	3
中京大学	3
愛知工業大学	1
立命館アジア太平洋大学	2
工学院大学	1
東京電機大学	1

武庫川女子大学	1
日本福祉大学	1
森ノ宮医療大学	1
玉川大学	1
女子美術大学	2
日本体育大学	3
東海大学	6
帝京大学	2
京都外国語大学	6
東京国際大学	5
千葉工業大学	4
大阪工業大学	1
桜美林大学	2
立正大学	1
白百合女子大学	1
愛知学院大学	1
中部大学	1
松山大学	6
関東学院大学	1
摂南大学	1
追手門学院大学	3
桃山学院大学	1
神戸学院大学	9
拓殖大学	1
東京工芸大学	1
神奈川工科大学	2
金沢学院大学	2
藍野大学	1
関西福祉大学	1
山梨学院大学	1
大阪産業大学	7
大阪商業大学	3
大阪学院大学	5
阪南大学	4
広島経済大学	1
福井工業大学	3
京都先端科学大学	3
京都精華大学	3
流通科学大学	2
名古屋商科大学	2

城西大学	1
昭和音楽大学	1
環太平洋大学	2
甲南女子大学	1
神戸親和大学	1
神戸国際大学	1
四国学院大学	1
徳島文理大学	2
西日本工業大学	1
びわこ成蹊スポーツ大学	1
高知学園大学	1
高知健康科学大学	1
岡山商科大学	7
天理大学	5
吉備国際大学	2
平成国際大学	2
日本経済大学	2
至誠館大学	2
大阪観光大学	1
兵庫大学	1
中部学院大学	1
九州情報大学	1
仙台大学	1
嘉悦大学	1
大阪国際大学	1
奈良美術工芸大学	1
日本文理大学	1
星槎道都大学	1
東海学院大学	1
桐蔭横浜大学	1
浜松学院大学	1
聖カタリナ大学	1
芦屋大学	1
花園大学	1
高知リハビリテーション専門職大学	1
日本栄養大学	1

■ 2026 (令和8) 年3月9日現在